

令和5年度フォローアップについて

令和5年2月16日
教員養成フラッグシップ大学推進委員会

令和5年度のフォローアップは、書面による報告及びヒアリングにより行うこととする。

1. 報告

以下の内容について、教員養成フラッグシップ大学（以下「大学」という。）から書面により報告を受けることとする。

- (1) カリキュラムの全体構成
- (2) 先導的・革新的な教員養成プログラム・教職科目の研究・開発の進捗状況
- (3) 現行の教職科目から減ずる科目の内容・検討状況、その他教職科目の見直しの進捗状況
- (4) 全国的な教員養成ネットワークの構築と成果の展開の進捗状況
- (5) 工程表に基づく取組の進捗状況
- (6) 取組を中止する等の申請時からの重大な変更点及びその理由、代替策
- (7) 教員養成フラッグシップ大学推進委員会において出された委員会意見・改善事項に係る対応状況
- (8) その他

2. ヒアリング

事業目的の着実な達成に資するため、実地調査を行い、学生を含む関係者との質疑応答及び教育現場・施設の視察等を含むこととする。

(1) 実施体制

実地調査は、教員養成フラッグシップ大学推進委員会（以下「推進委員会」という。）に属する委員2名以上で行う。

(2) 実施内容（例）

- ①大学関係者（責任者）からの説明（20分）
- ②教職員との意見交換（45分）
- ③学生との意見交換（30分）
- ④連携先機関の担当者との意見交換（45分）
- ⑤大学の授業・施設等の見学（30分）
- ⑥附属学校の授業・施設等の見学及び附属学校教員との意見交換（45分）
- ⑦大学関係者（責任者）との意見交換（40分）
- ⑧資料・データ等の確認
- ⑨その他、推進委員会が必要と判断する内容

※実施内容及び実施内容にかかる所要時間は各大学の進捗状況等に応じ、半日から1日程度の範囲において行うものとする。

(3) その他

- ・ウェブ会議システムによる参加も可能とする。
- ・指定大学間の連携・協働を推進するため、他大学の現地調査に参加することができる。
なお、他大学の現地調査に参加する場合は、各大学2名までとする。

3. スケジュール

令和5年秋 大学：書面報告作成・提出
ヒアリング（現地調査）
令枝6年冬 推進委員会開催